

子どもと地域をつなぐ種をまこう



ちょっとから始まる 地域の時間



子どもと地域がつながることをテーマに、「ちょっといっしょ」にいる時間を作ります。どなたでも参加していただき、ご高齢の方や障害を持つ方、介護を必要としている方や外国にルーツのある方など、子どもたちと一緒に過ごす時間を作ります。

取り組み案

ちょっといっしょに。 アオゾラじかん



多摩川のごみ拾い
遊んだり
食事したり
趣味をしたり...

ちょっといっしょに。 PLAYタイム



いろいろな文化の遊び
スポーツなど

ちょっといっしょに。 本のじかん



図書館に行ったり
お話を読んだり

ちょっといっしょに。 おやつじかん

近くの喫茶店に
出かけておやつを食べます



<p>タイトル</p>	<p>ちよつとから始まる地域の時間</p>
<p>立案者の 思い</p>	<p>福祉カレッジを受講をしていく中、最初は何か私にも支援できることは・・・と考えていました。しかし、受講の回を重ねるごとに何かしてあげようではなく、“その人のありのままの姿を受け入れ一緒に居ること”“一緒に楽しむこと”などと、少しずつ考え方が変わっていきました。今回私が経験したことを、息子をはじめ、子どもたちに伝えたいと思いました。子どもたちが小さい頃から多様な人の中で育つことで、お互いを認め育ち合えることを喜び、楽しめるそんな大人になって行って欲しいです。そのために親ができることは“繋げる”ことだと思いました。いきなりは難しいかもしれないけど、「ちよつとの時間」なら、日々の中に取り入れやすく、始められるかもしれないと思い考えました。</p> <p>高齢者の方や障害を持つ方、外国にルーツのある方など、多様な方々がいる 狛江市。子どもたちには、色々な人に出会い、地域の多様な人たちと繋がることを楽しめるようになってほしいです。この取り組みは、そうなるようにと種をまく取り組みです。少しずつその種が芽を出すことで、子どもたちが地域と共に学び、育ち合う喜びを感じながら安心して大人になってくれると良いです。その経験を次への世代にバトンを渡していくことで、誰もが共に生きられるまちへとつながると信じています。</p>